



死亡災害等速報

“ 労災による死亡者を、悲しみをゼロに ”

長野労働局

災害発生月	令和4年7月
事業の種類	卸売業
災害の概要 (注1)	<p>労働者 A は、午前中、屋外作業の立ち合いを行い、午後から顧客企業において、側方を開放しファンを停止したビニールハウス内で遮光カーテン開閉ワイヤの交換作業を単独で行っていた(通常 30 分から 1 時間で終了する作業)。</p> <p>午後5時頃、ビニールハウスの見回りをしていた顧客関係者が倒れている労働者 A を発見し、病院に救急搬送されたが熱中症の疑いで死亡が確認された。</p> <p>作業の進捗状況から、労働者 A が倒れた時刻は、午後2時30分頃と推測される。</p> <p>最寄りの気象観測点の気象データは次のとおりである。</p> <p>天候：雨 ・ 気温：23 ・ 湿度：93～95%</p>
再発防止・類似災害防止のためのポイント (注2)	<p>【 職場における熱中症予防対策 】</p> <p>「職場における熱中症予防基本対策要綱」に基づく各対策を実施すること。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000633853.pdf</p>  <p>JIS 規格に適合した WBGT 指数計で WBGT 値(暑さ指数)を測り、WBGT 値が高いときは、熱中症を疑わせる兆候が表れた場合に速やかな作業の中断等を行うことを目的に、作業中の巡視を頻繁に行うこと。頻繁な巡視の行えない単独作業はウェアラブルセンサーの活用等により、当該労働者の状況の遠隔把握に努めること。</p> <p>なお、熱中症リスクに関わらず、緊急時に迅速に救助できる体制の整備に努めること。</p> <p>特に、熱中症の発生リスクが高い作業(WBGT 値が高い場所での作業)であって、納期・工期のあるものは、顧客から業務を請け負う際に、別添様式を活用する等により、気象状況等に応じて業務の進捗が遅れうる旨を説明し、予め了解を得ること。</p> <p>定期健康診断等の結果、異常の所見があった場合は、健康を保持するために必要な措置について医師から意見を聴取し、就業場所の変更、作業の転換等の措置を講じること。感冒(風邪)、下痢、糖尿病、高血圧症などの熱中症にかかりやすくなる疾病は、特に注意すること。</p> <p>【 参考 】 長野労働局ホームページ 熱中症予防対策</p> <p>https://jsite.mhlw.go.jp/nagano-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/hourei_seido/nettyuusyuu_yobou.html</p> 

注1) 本速報時点までの所轄労働基準監督署による調査をもとに、長野労働局が作成・推定したものであり、今後、調査が進む過程で新たな事実が判明すること等がある。

注2) 同種災害防止のため、関係する指針・ガイドライン・通達をはじめ、一般的な再発防止対策等を示したもの。発生した災害の責任を問うために示すものではなく、また、必ずしも本件災害自体に対応したものとは限らない。

STOP! 熱中症

7～8月は重点取組期間

令和4年5月～9月

クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約600人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!

新型コロナウイルス感染症の予防と熱中症予防の両立のため、屋外の暑熱環境下においては、人と十分な距離（少なくとも2m以上）を確保し、不織布マスク等を着用せず作業ができるよう、作業計画や作業方法を工夫するなどの対応が求められます。



労働災害防止キャラクター
チュウイカン吉

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

実施期間：令和4年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、長野局における重点取組期間7～8月）



確実に実施できているかを確認し、 にチェックを入れましょう!

準備期間（4月1日～4月30日）

WBGT値の把握の準備	JIS規格「JIS B 7922」に適合したWBGT指数計を準備しましょう。		
作業計画の策定など	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう余裕を持った作業計画をたてましょう。		
設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、WBGT値を下げる方法を検討しましょう。また、作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所や日陰などの涼しい休憩場所を確保しましょう。		
服装などの検討	通気性の良い作業着を準備しておきましょう。身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討しましょう。		
教育研修の実施	熱中症の防止対策について、教育を行いましょ。		
労働衛生管理体制の確立	衛生管理者などを中心に、事業場としての管理体制を整え、必要なら熱中症予防管理者の選任も行いましょう。		
発症時・緊急時の措置の確認と周知	体調不良時の休憩場所や状態の把握、悪化時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。		

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

字ばう! 備えよう! 職場の仲間を守ろう!
職場における熱中症予防情報



ポータルサイトをご活用ください



厚生労働省・長野労働局・労働基準監督署

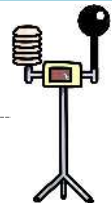
(R4.3)

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP
1

WBGT値の把握

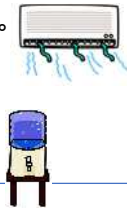






JIS規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP
2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

WBGT値を下げるための設備、休憩場所の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。		
通気性の良い服装等			
作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。		
暑熱順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り 、 1週間程度かけて徐々に身体を慣ら しましょう。特に、 入職直後 や 夏季休暇明け の方は注意が必要です！		
水分・塩分の摂取	のどが渴いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。		
プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。		
健康診断結果に基づく措置	糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全、精神・神経関係の疾患、広範囲の皮膚疾患、感冒、下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。		
日常の健康管理など	前日はお酒の飲みすぎず、よく休みましょう。また、当日は朝食をしっかりと取るようにしましょう。熱中症の具体的な症状について理解し、熱中症に早く気付くことができるようにしましょう。		
作業中の作業者の健康状態の確認	管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。特に、入職直後や夏季休暇明けの作業員に気を配りましょう。		

STEP
3

熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

WBGT値の 低減対策 は実施されているか
WBGT値に応じた 作業計画 となっているか
各作業者の 体調 や 暑熱順化の状況 に問題はないか
各作業者は 水分 や 塩分 をきちんと取っているか
作業の 中止 や 中断 をさせなくてよいか



異常時の措置

- ～少しでも異変を感じたら～
- ・いったん作業を離れ、休憩する
 - ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
 - ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない

長野労働局における重点取組期間（7月1日～8月31日）



実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。水分、塩分を積極的に取りましょう。
 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
休憩中の状態の変化にも注意し、少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく病院に搬送しましょう。

